

第277回 益田掃除に学ぶ会 お掃除通信

開催場所 運動公園公衆トイレ

参加者数 10名

1、代表世話人挨拶 山崎純
皆さんもご存じのようにコロナウイルスで厳しい状況が続いております。学校での開催は無理と事務局の方から連絡が有って、それなら公衆トイレでもさせて頂こうという事になり、今日は運動公園の公衆トイレをすることになりました
日も長くなって夜明けの時間も早くなり明るくなりました
10名の方が集まって頂きありがとうございます。それから
広島の方からマスクの提供がありましたので、今日
ご参加の皆さんに10枚づつ配りますのでご利用ください
2、体験感想発表
・中島 明洋さん(翔陽高校)
今日は女子トイレをしましたが、照明が時間がきて消えた為に暗くて見えにくく少し残念かったです。お蔭できれいにしました
実感がなかったです。でも壁のカビは綺麗になりました。
学校も進級できましたので、部活も含めて部員にこの会に誘ってみます
・中西 秀之さん(周南市)
先日呉の中村さんから月例会が公衆トイレなのに中止と連絡を頂き残念に思っていました。益田はこうして開催して頂きありがとうございます。今日は村上さんが色々なことをされている姿が素晴らしいと思いました
・中野 尚樹さん(浜田市・キヌヤ)
今日は女子トイレでしたが、中島君が話していましたが照明が消えてしまって大方見えなくて困りました。水垢の線が汚れているのがかすかに分かる程度で心残りです
壁や床は時間をかけてきれいにでき、隣に応援も出来て良かったと思います。 なにしく暗いということが厳しかったですね

2、体験感想発表
・福元 正敏さん(浜田市・しまや)
もう一度原点から勉強するためにも、外に出て学び直す必要の有ると個人的には思っています
・森 宣雄さん(益田市・キューサイファーム鳥根)
今日は男子トイレの大便器を担当しましたが、便器に小さい傷が沢山有って、その傷は綺麗にはなりません、掃除をされる業者の方が付けられた物か分かりませんが、我々も改めて道具の使い方に注意していかないといけないことを強く感じました
・岡本 昇太さん(浜田市・キヌヤ)
今日は女子トイレでしたが、皆さんが仰っているように窓が閉鎖されて照明が消えたので暗くて大変でした。それと、床が一部盛り上がりタイルとの間に隙間が有って水が底に入っていくのでいつかは壊れる様な気がします
・山崎 純さん(益田市・キヌヤ)
今日は障害者用のトイレを掃除しましたが、全体的には綺麗でしたが換気扇が凄く汚れていて、村上さんに外して頂いてきれいになりました
今日掃除をどうしようか迷ったのですが、気持ちよくやって良かったと思っています。来月も同じような形になるかも知れませんが、ご都合の良い方は是非また一緒に掃除をしたいと思えます
・事務局より
今朝も始まる前に少し話をさせて頂きましたが、一様3月度～10月度まで小中学校を会場に決めております。しかしコロナウイルスの感染拡大防止のために、今は学校は無理と言うことで急速市役所に電話をして公衆トイレをさせて頂きました。日本を美しくする会からも3月、4月の掃除の会の自粛の要請も来ておりますし、開催することがどうかとは思いましたが、10名程度でささやかに公衆トイレを掃除させて頂くのは可能だろうと山崎さんと判断しました

4、鏝山秀三郎相談役 一日一語より抜粋
カッコよいこと
「カッコよさは破滅に繋がる」三浦綾子記念文学館で目にしたこの言葉が、強く印象に残っております
たしかに、自分でカッコ良いと思っていることはことごとく、他人から見たらカッコ悪いことばかりです。
滅びへの道だと思えます。一方、掃除は見た目に不恰好です。自分自身を飾りようがありません。
だからこそ、周囲の方々から好感をもたれるのかも知れません。
社長交代
後任社長を任命したとき、固辞されました。理由は「今まで掃除をやってこなかったし、これからは出来ないから私には社長は務まりません」ということでした。そこで「私と同じことをやるんだったらあなたに頼みませんよ」と説得して引き受けて頂きました。社長交代に当たり、私と同じことをする後継者では意味がないと思えます。違っていいんです。
5、森信三先生の教え 一語千鈞より
生き方の基本
・心を正そうとしたら、まず体を正し、ものを整えることから始めねばならぬ。靴をそろえることひとつがいかに重大な意味を持つか分からぬような人間は、論ずるに足りない。
・拳手は、行動的な「しつけ」の第一であって、断乎たる決意の表明ともなる。拳手については、まず
1・五体の指を揃え 2・垂直に上げること 3・そして最後に俊敏に・・・という三つが大事
・学校のしつけは、まず靴箱の踵をきちんと揃えさすことから始まる。このしつけひとつができれば、全般にひとつの筋金が通りだすといつてよからう。
・いざという時、肝のない人間は、例えその人がいかに熱心な読書家であろうとも人に長なる器とは言えぬ
6・平澤 興先生語録より
平澤 興 一日一言より
・真に学ぶとは、賢くなることではなく、むしろ自らの愚かさをしみじみ感じることであり、それだけに
学べば学ぶほどいよいよ謙虚にならざるを得ないのです
・御堂筋に、西本願寺の難波別院というのがあります。その黒板に、非常にいい言葉が書いてありました。
「たとえ一生尽くしても、会わねばならない人がいる。それは私自身」こういう言葉です。それはただ自分がいつも
何となくに会っておる自分ではなく、一体自分と言う人間はどういう人間かという、そういう自分で有ります。